

## ニュースクリップ &amp; 映像教材

## 協会情報

## ■令和6年度教育映像祭「優秀映像教材選奨」応募状況

(一財)日本視聴覚教育協会主催による標記選奨の応募作品数は次の通り。

1. 小学校(幼稚園含)部門【教育映像】 22作品
2. 中学校部門【教育映像】 4作品
3. 高等学校部門【教育映像】 1作品
4. 社会教育部門【教育映像】

〔市民生活向〕 4作品

〔家庭生活向〕 3作品

5. 職能教育部門【教育映像】  
10作品(シリーズ含む)

6. 教養部門【教育映像】 2作品  
教育映像はすべてDVD。

教育デジタルコンテンツへの応募はなし。

## ■令和6年度「全国自作視聴覚教材コンクール」応募状況

(一財)日本視聴覚教育協会主催、他共催による標記コンクールの応募作品数は次の通り。

1. 小学校部門(幼稚園・保育所を含む) 18作品
2. 中学校部門 11作品
3. 高等学校部門 5作品
4. 社会教育部門 32作品

なお、前項の「優秀映像教材選奨」および「全国自作視聴覚教材コンクール」の表彰式は、令和6年9月19日(木)、霞が関プラザホール(東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビル1F)にて行われる予定。

<問い合わせ先>(一財)日本視聴覚教育協会  
TEL 03-3431-2186

## ■第69回教育映像祭「夏休みこども映画フェア」

(一財)日本視聴覚教育協会、東京都小学校視聴覚教育研究会では、令和6年8月21日(水)10:00~11:40、文京シビックホール・小ホール(東京都文京区春日1-16-21)において、標記映画フェアを教育映像祭の一環として開催する。親子で楽しめる映画5作品を上映予定(詳細は、裏表紙を参照)。

<問い合わせ先>東京都中野区立鷺の杜小学校  
武智「夏休みこども映画フェア」係  
TEL 03-5364-7135

## ■「第7回日本ICT教育アワード」募集

全国ICT教育首長協議会では、教育DXを推進することを目的に、自治体の事例を募集している(詳細は、22頁を参照)。

<募集事例>GIGAスクール構想や自治体独自の教育DXでの事例。応募は、全国ICT教育首長協議会HP上のフォーム入力からできる。詳細は、<https://www.ictmayors.jp/>にアクセスのこと。

<賞>文部科学大臣賞、総務大臣賞、経済産業大臣賞他。

<締切>令和6年9月27日(金)

<問い合わせ先>全国ICT教育首長協議会事務局  
(一財)日本視聴覚教育協会内  
TEL 03-3431-2186

## 文部科学省情報

## ■令和6年度パテントコンテスト/デザインパテ

## ントコンテスト

文部科学省、特許庁等の主催により、標記2つのコンテスト実施にあたり、作品を募集している。

### ○パテントコンテスト

＜応募内容＞（応募するアイデアの要件）「特許法に定める発明」であること。

＜応募資格＞高校生、高等専門学校生、大学生、専修学校生、大校生。

### ○デザインパテントコンテスト

＜応募内容＞（応募するデザインの要件）「意匠法に定める意匠」であること。

＜応募資格＞高校生、高等専門学校生、大学生、専修学校生、大校生。意匠権セミナー受講、映像コンテンツ等を視聴した者。

以下項目は、2つのコンテストに共通。

＜賞＞特別賞、優秀賞等。

＜締切＞令和6年9月27日（金）消印有効。

＜問い合わせ先＞パテントコンテスト及びデザインパテントコンテスト実行委員会事務局（独法）

工業所有権情報・研修館知財人材部内

TEL 03-3581-1101・内線3907

## AV情報

### ■厚生労働省「中高生向け年金教育教材」を公開

厚生労働省では、公的年金制度についての標記教材を公開している。

＜内容＞学習指導要領を参考に3時間分の授業を用意し、授業を通じて将来のライフプランと年金制度について考えながら探究学習を進められるワークシート、動画、参考資料等。詳細は、[https://www.mhlw.go.jp/koroshou\\_kyozai/](https://www.mhlw.go.jp/koroshou_kyozai/)を参照のこと。

＜問い合わせ先＞厚生労働省年金局総務課年金広報企画室 TEL 03-3595-2862

## 研究会情報

### ■未来の学習コンテンツEXPO 2024

（公財）学習情報研究センター（未来の学習コンテンツEXPO実行委員会）では、「2040年に働くための学びのコンテンツ」をテーマに、標記イベントを開催する。

＜日時＞令和6年8月19日（月）・20日（火）10：00～17：00

＜会場＞東京富士大学（東京都新宿区下落合1-7-7）

＜内容＞基調講演、セミナー、パネルディスカッション、ワークショップ等。要事前申込。

＜問い合わせ先＞（公財）学習情報研究センター 未来の学習コンテンツEXPO実行委員会

TEL 03-6205-4531

## コンクール情報

### ■「U-22プログラミング・コンテスト2024」作品募集

U-22プログラミング・コンテスト実行委員会主催による、自らのアイデアをプログラミング技術で表現する作品提出型の標記コンテストでは、作品を募集している。

＜参加資格＞22歳以下（2002年4月2日以降に生まれた方）。

＜募集内容＞未応募のオリジナル作品。アート、AI、IoTなど、実行可能にした作品。

＜賞＞経済産業大臣賞（4本）副賞50万円、経済産業省商務情報政策局長賞（6本）副賞5万円他。

＜締切＞令和6年8月30日（金）

＜問い合わせ先＞（一社）ソフトウェア協会内

U-22プログラミング・コンテスト運営事務局

MAIL [u22-info@saj.or.jp](mailto:u22-info@saj.or.jp)

### ■第5回学力向上アプリコンテスト

NPO法人uecサポート（電気通信大学認定ベンチャー）では、標記コンテストにあたり、アプリを募集している。

＜応募資格＞小学5年生から大学院生（修士2年まで）の個人または6人以下のチーム。

＜募集内容＞①小学校から高校までに勉強する内容を楽しく学習できるアプリ、②情報科目を楽しく学習できるアプリ。

＜賞＞最優秀賞1点（5万円）、優秀プログラム賞、優秀デザイン賞の各賞では、小中学生の部、高校大学生の部として、各1万円など。

＜締切＞令和6年8月31日（土）

＜問い合わせ先＞NPO法人uecサポート

MAIL [appcontest@uec-programming.com](mailto:appcontest@uec-programming.com)

### ■「2024年度子どもたちの“こころを育む活動”」募集

（公財）パナソニック教育財団は、子どもたちの

こころの成長につながる活動を表彰するため標記の活動を募集している。

＜対象となる活動＞家庭、地域、学校、企業などのさまざまなグループで継続している活動等。

＜賞＞全国大賞50万円、優秀賞、特別賞20万円。

＜締切＞令和6年9月3日（火）17：00まで。

＜問い合わせ先＞（公財）パナソニック教育財団  
TEL 03-5521-6100

### ■第27回全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール

全国小中学校環境教育研究会では、環境保全の意識を高めるため、標記コンクール実施にあたり、作品を募集している。

＜テーマ＞「みんなでつくろう持続可能な社会」  
「みんなで守ろう豊かな自然」

＜応募資格＞小学生（3～6年生）、中学生※義務教育学校、小中一貫校等も含む。

＜応募作品規定＞1人について絵画、ポスターいずれか1点。

＜賞＞文部科学大臣賞、環境大臣賞各賞、小中学校各1名他。なお、入賞作品は、環境白書表紙、裏表紙の他、環境月間普及啓発用ポスター、環境に関するイベント等に活用されることがある。

＜締切＞令和6年9月9日（月）必着。

＜問い合わせ先＞全国小中学校環境教育研究会環境絵画コンクール担当 多摩市立鶴牧中学校 副校長 天野拓二 TEL 042-337-4020

### ■第19回朝永振一郎記念「科学の芽」賞

筑波大学では、自然や科学への関心と芽を育てることを目的とした標記コンクールを開催する。

＜応募資格＞小学校3～6学年、中学校、義務教育学校、高等学校（高等専門学校3年次までを含む）、中等教育学校、特別支援学校（小学部3年～高等部）。

＜応募内容＞自然現象の不思議を発見し、観察・実験して考えたことをレポート10枚以内にまとめる。

＜締切＞令和6年9月17日（火）消印有効。

＜問い合わせ先＞筑波大学「科学の芽」実行委員会（学校支援課） TEL 03-3942-6806

### ■「地方創生☆政策アイデアコンテスト2024」

内閣府地方創生推進室では、標記コンテスト実施にともない、地域の未来をよりよく変えていく、

創意あふれた提案を募集している。

＜募集対象＞地方創生やデータ利活用に関心を持つ地方公共団体、民間企業等の社会人や学生。

＜募集内容＞地域の現状・課題について、地域経済分析システム、デジタル田園都市国家構想データ分析評価プラットフォームを使って分析し、その上で解決策となるような政策アイデア。

＜賞＞高校生・中学生以下の部、大学生以上一般の部、官民連携の部、の区分に基づき、それぞれ地方創生担当大臣賞、優秀賞を授与。

＜締切＞令和6年9月19日（木）17：00まで。

＜問い合わせ先＞地方創生☆政策アイデアコンテスト2024事務局東武トップツアーズ（株）

TEL 050-9000-5887

### ■「ICT夢コンテスト2024」実践事例募集

（一社）日本教育情報化振興会では、全国的にICTを有効に活用した教育活動が実践されるように、活用の実践事例を募集している。

＜実践領域＞学校の教職員等（ICT支援員など外部職員を含む）、教育委員会・教育センター等、保護者・地域のボランティア・大学・企業・NPO法人等による実践。

＜賞＞文部科学大臣賞（学校／地域）、総務大臣賞、NHK賞他。

＜締切＞令和6年9月20日（金）

＜問い合わせ先＞（一社）日本教育情報化振興会ホームページ＜ICT夢コンテスト専用＞お問い合わせ先 まで。

## 学会情報

### ■情報処理学会「情報教育シンポジウム」

情報処理学会コンピュータと教育研究会では、標記シンポジウムを開催する。

＜日程＞令和6年8月10日（土）～12日（月）

＜会場＞ライトキューブ宇都宮（栃木県宇都宮市宮みらい1-20）

＜内容＞情報教育や教育の情報化に関する問題やアイデアの議論を深める場とする。招待講演等。要事前申込。

＜問い合わせ先＞（一社）情報処理学会コンピュータと教育研究会 MAIL kanemuneあつとacm.org（あつとはアットマークに）

### ■CIEC「2024PCカンファレンス」

(一社) コンピュータ利用教育学会 (CIEC) では、「より良い世界のための新たな教育を目指して」をテーマに、標記カンファレンスを開催する。

<日程>令和6年8月17日(土)～19日(月)

<会場>東京都立大学 南大沢キャンパス (東京都八王子市南大沢1-1)

<内容>基調講演、シンポジウム、分科会発表、教育・ITフェア等。要事前申込。

<問い合わせ先>CIEC事務局内 実行委員会事務局 MAIL pcc-info@ciec.or.jp

### ■日本デジタル教科書学会 第13回年次大会 (東京大会)

日本デジタル教科書学会では、「ネクストGIGAに向けたDataとAIの活用」をテーマに、標記大会を開催する。

<日時>令和6年8月24日(土) 9:50～16:30、25日(日) 9:30～15:00

<会場>昭和女子大学附属中学校・高等学校 (東京都世田谷区太子堂1-7-57)

<内容>若手優秀賞受賞候補発表、研究発表、基調講演、パネルディスカッション等。要事前申込。

<問い合わせ先>日本デジタル教科書学会 MAIL office@js-dt.jp (●はアットマークに)

### ■日本教育情報学会第40回年会

日本教育情報学会では、「AI/DX時代の教育情報学を考えるー『近未来』の学びの姿とその本質」をテーマに標記年会を開催する。

<日時>令和6年8月24日(土) 10:00～17:45、25日(日) 9:30～16:00

<会場>青山学院大学青山キャンパス17号館5階 (東京都渋谷区渋谷4-4-25)

<内容>課題研究発表、基調講演、シンポジウム、一般研究発表等。要事前申込。

<問い合わせ先>日本教育情報学会ホームページまで。

### ■日本教育学会第83回大会

日本教育学会では、標記大会をハイフレックス方式(オンラインと現地会場)にて開催する。

<日時>令和6年8月29日(木) 9:00～17:30、31日(土) 9:30～19:45、9月1日(日) 9:00～16:00 (※30日(金)は移動日)。

<会場>名古屋大学全学教育棟・東山キャンパス (名古屋市千種区不老町)

<内容>自由研究発表、ラウンドテーブル、課題研究、公開シンポジウム等。要事前申込。

<問い合わせ先>名古屋大学 (一社) 日本教育学会第83回大会実行委員会事務局

MAIL jera83@educa.nagoya-u.ac.jp

### ■日本教育工学会2024年秋季全国大会

日本教育工学会では、標記大会を開催する。

<日時>令和6年9月7日(土) 9:20～16:50、8日(日) 9:00～17:10

<会場>東北学院大学五橋キャンパス (仙台市若林区清水小路3-1)

<内容>シンポジウム、チュートリアルセッション、企画セッション、シンポジウム、企業展示等。要事前申込。

<問い合わせ先>日本教育工学会大会企画委員会 (秋大会) MAIL a-taikai2024@jset.gr.jp

## 文部科学省選定作品

### ■6月選定 罫紙しばい ㊦ DVD

特別選定「細織ー村上良子のわざー」㊦32分<中学校、美術/高等学校、芸術(美術、工芸)/少年・青年・成人、教養・情操(伝統工芸)> (株) 桜映画社 ※中学校は選定

「うまれるよ! きょうりゅうのたまご」罫紙12枚<幼稚園/小学校低学年/幼児・少年、教養> (株) 童心社

「聞き方上手 話し方上手 コミュニケーションを身につけよう」㊦19分<小学校高学年、特別活動/少年、教養・情操(その他)> (株) 映学社

「子どもの水難事故」㊦12分<青年・成人、健康・スポーツ(野外活動)> (有) 鹿児島文化企画

「わたしの物語」㊦87分<少年・青年・成人・家庭、一般非劇映画> (株) パンドラ

「ここにいる、生きている。～消えゆく海藻の森に導かれて～」㊦103分<青年・成人・家庭、一般非劇映画> (株) No.0

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shougai/movie/](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/)

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。

## ■ 全国ICT教育首長協議会情報

### 全国ICT教育首長サミット

#### Next GIGAが日本の未来を変える～先進的ICT教育自治体のトップが語る未来の教育～

令和6年6月7日（金）東京ファッションタウンビル TFTホール（東京都江東区）にて、「New Education Expo2024」の中で、全国ICT教育首長協議会による全国ICT教育首長サミット「Next GIGAが日本の未来を変える～先進的ICT教育自治体のトップが語る未来の教育～」が、約500名の参加者を得て、開催された。

来賓として、文部科学省初等中等教育局 学校情報基盤・教材課長、学校デジタル化プロジェクトチームリーダー寺島史朗氏が登壇し、「GIGAスクールは世界で初めて日本が推進してきた。端末活用で、主体的対話的で深い学びに取り組んでいる子供ほど学力調査の平均正答率が高く、個別最適な学びや協働的な学びを行っている学校ほど非認知能力が高まっている。課題としては、活用の自治体間格差が広がっており、GIGAスクールを推進するためには首長の方々の理解が大切である」と述べた。

登壇者の発表要旨は、以下の通り。

#### ○横尾俊彦会長（佐賀県多久市長）

いち早く全教室に電子黒板を導入。校務のフルクラウド化に取り組み、教員のテレワークを取り入れ時間外勤務時間が減少した。

#### ○内山慶治村長（熊本県山江村）

ICT教育14年目。ICTで学校を変革し、その成果として、若い人の人口流入が起きている。

#### ○森田充教育長（茨城県つくば市）

不登校対策を強化。校内フリースクールを整備し17%減少。つくばスタイル科では、問題発見解決の探究する学びにICTを活用している。

#### ○熊谷大町長（宮城県利府町）

モータースポーツや教育の充実によるまちづくり。「町はひとつの学校」をもとにICT教育を地域全体で取り組む。

#### ○菅原文仁市長（埼玉県戸田市）

メタバース活用で不登校対策やメタバース美術館を設立。ゼロトラストで端末1台で授業・校務・テレワークを実施している。

#### ○柴崎光子市長（埼玉県和光市）

「和光ブランド」をテーマに、ICTを活用した魅了ある地域学習を展開。主体的に自らの得意なことを活かして取り組んでいる。

#### ○楠瀬耕作市長（高知県須崎市）

市長部局も参加しICT教育推進本部を設置。小学校全学年でプログラミング。第3の居場所「てくテックすさき」に3Dプリンタを整備している。

